

宮城県慶長遣欧使節出帆 400 年記念事業

～400年の時空を超えて～

俳句と合唱でつなぐ日西文化交流プロジェクト

(通称：ハポンさんとの交流事業)

趣意書

3/22/2013 白田正樹

1. 背景

- 1) スペイン第4の都市セヴィリアの近郊“コリア・デル・リオ”（以下“コリア市”と呼ぶ）にはハポン姓を名乗る人々が約800人いるといわれている。彼らは1613年に伊達政宗が支倉常長を大使として派遣した「慶長遣欧使節」随行者の末裔とされている。そのハポンさんたちは自分たちが Samurai (侍) の末裔であると信じ「ハポン協会」を組織して活動している。（注：コリア市の今の様子を知るには下記サイトのビデオを見るのがいいでしょう。「日本」という名の理髪店や「Sendai」という名のカフェが出てきます。）
http://euro.typepad.jp/blog/2011/11/coria_del_rio.html
- 2) 一昨年の大震災の直後、ハポン協会が中心になり、市内のグアダルキビル川に沿った公園に建てられている支倉常長像（1992年に仙台市が寄贈）前にて追悼式が行われ、「君が代」や「さくら、さくら」を歌った後、遠い故郷の犠牲者を悼んでハイク（俳句：スペイン語で五・七・五の音節の詩としたもの）を読んだという。それがコリア市の図書館長の手で石巻市に届けられた。（注：現在石巻市ではそれを展示する場所がないためオリジナルを支倉家13代の支倉常隆氏が、コピーを石巻市の職員が保管している。コリア市の図書館長でありハイクの作者の一人でもあるプラテーロ氏は正式に日本語訳されたものを毛筆で書き直しどこか石巻か仙台の施設に展示してほしいと希望しており、現在それをサンファン館に展示する方向での話が進んでいるという。）
- 3) その内容は、2012年1月14日付けの読売新聞「世界は忘れない。犠牲者悼む五・七・五」として紹介されている。（添付）
- 4) 今年2013年は支倉常長ら一行180人余を乗せた「サン・ファン・パウティスタ号（以下サン・ファン号）」が石巻の月の浦を出帆して400年の節目の年である。そして来年2014年はアカプルコやメキシコを経て、スペインに到着して400年となる。
- 5) 支倉常長が日本に持ち帰った「慶長遣欧使節関係資料」47点（仙台市博物館所蔵、多数が国宝に指定されている）とスペイン国立公文書館所蔵94点が今年世界記憶遺産として登録される予定であるという。（注：世界記憶遺産としては、フランスの「人権宣言」、「アンネの日記」、ベートーヴェンの「第九」の直筆楽譜、ゲーテ直筆の詩集などが登録されているが、長い間日本のものは登録されなかった。2011年に初めて「山本作兵衛が描いた筑豊炭田の記録画」が登録され大きな話題を呼んだ。）
- 6) サン・ファン号は日本で最初の西洋型軍船。石巻市渡波地区の慶長遣欧使節船ミュージアムに展示されていたサン・ファン号の復元船は震災とその後の暴風雨でマス

ト2本が折れるなどの被害を受けたが大きな損傷は免れた。復旧工事は今年10月の出帆400年に予定されている記念イベントに間に合うように進められている。なお、サン・ファン号の復元船が完成した時(1992年)の記念式典では、現在仙台の混声合唱団「萩」の指揮者である岡崎光治氏が合唱と吹奏楽の為に作曲した記念楽曲が演奏されている。

- 7) 昨年11月中旬、来年の400年を前に支倉家13代にあたる支倉常隆氏がセビリアとコリア市を訪問。現地から熱烈な歓迎を受けている。(添付新聞記事)
- 8) その2週間後の12月上旬に本実行委員会のメンバーである白田も訪問。セビリア市当局、大聖堂の司祭、アルカサル宮殿の責任者、コリア市当局、コリア市文化センター、ハボン協会幹部などと面談。本趣意書に記載のイベントを実行するにあたっての可能性を打診し、非常にポジティブな感触を得ている。その時の写真集は下記サイトで閲覧できます。

www.japanuschorus.org

2. イベント概要

遠くスペインの地にとどまった仙台藩の人達の子孫が、はるか400年の時を超えて祖先の故郷の惨状を悼み俳句を通してお悔やみの心情を寄せてくれた暖かい思いに対して仙台・石巻の地元の人間として感謝の意を表したい。それを日西の文化交流の形で実現したいと考えるものである。そしてこれを機会に日本とスペインとの間の文化交流が盛んとなり、ひいては両国間の親善に貢献したいと考えるものである。

具体的には、2013年夏にスペインから関係者を石巻市と仙台市に招いて交流を図るプロジェクト(Phase 1)と2014年10月に日本から俳句関係者および合唱団「萩」などがセヴィリアを訪問してコンサートなどで交流をはかるプロジェクト(Phase 2)に分けて行いたい。

[Phase 1] スペインから日本へハボンさんらを招待

- 1) 時期： 2013年7月31日から8月7日まで(暫定)
- 2) 招待する人々：
ハボン協会の代表
実際に俳句を詠んだ方々および俳句の愛好家
コリア・デル・リオの図書館長
コリア・デル・リア文化センター館長
コリア・デル・リオの混声合唱団：コロ・サンタ・マリア
など25人程度
- 3) 具体的なイベント(予定)：
7月30日(あるいは31日) 日本着
7月31日 石巻着。灯籠流しに参加(ハボンさんたちの俳句を灯籠で流してもらう)。
8月1日 サンファン館訪問。月の浦訪問。雄勝町訪問。川開き花火大会参加。
8月2日 石巻市長表敬訪問。
仮設住宅を慰問(集会所で簡単なコンサート)
18:30-20:00
「ハボンさんたちと祝う慶長遣欧使節団400年記念コンサート in 石巻」
出演：コロ・サンタ・マリア合唱団、石巻合唱団連盟
特別ゲスト：黛まどか(俳人)
演奏会後 レセプション

- 8月3日 仙台に移動。宮城県庁、仙台市役所表敬訪問
- 8月4日 仙台 於：元寺小路のカトリック教会
午前中：ミサに出席、演奏
14：00－16：00
「ハボンさんたちと祝う慶長遣欧使節団400周年記念コンサートin 仙台」
出演：コロ・サンタ・マリア合唱団、合唱団「萩」
コリア市合唱団「コロ・サンタ・マリア」と「萩」の合同演奏会
サンタ・マリア合唱団 2ステージ
（常長が洗礼式の時などで歌われたという“テ・デウム”も演奏していただく）
合唱団「萩」 2ステージ
（“テ・デウム”と同じVictoria作曲の2曲で1ステージ）
- 8月5日 仙台/松島観光 市当局、伊達泰宗氏、仙台藩士会、俳句愛好者などと交流
- 8月6日 仙台七夕祭り見学 （ハボンさんたちのハイクを短冊に記して飾る）
- 8月7日 帰国
（注）もしハボンさん一行の予定が許せば、東京麹町のセルバンテス文化センターにおいて記念式典とレセプション（コロ・サンタ・マリアの演奏を含む）をしたいという希望もある。

[Phase 2] 仙台・石巻関係者および合唱団「萩」のスペイン訪問

- 1) 時期：出来れば2014年10月
（理由）
- 10月5日：使節団がスペインのサンルカール港に到着した日から400年
 - 10月12日：使節団がコリア・デル・リオに入港した日から400年
 - 10月21日：使節団がセヴィリアに到着した日から400年
- 2) セヴィリアでのイベント：
[合同合唱コンサート]
場所：アルカサル宮殿：世界遺産。スペイン王室の宮殿。大聖堂の向かいに建っている。支倉常長らが約1ヶ月滞在。候補の場所としては「狩猟の中庭」と呼ばれる中庭（約800人収容）。場所は無料で提供される。
概要：合唱団「萩」の第二回海外公演としたい。石巻の合唱団の方がたの任意参加も歓迎する。賛助出演にセヴィリアの有名な少年少女合唱団（ロス・パラシオ合唱団）とコリア市のコロ・サンタ・マリア合唱団を考える。
また「萩」の姉妹合唱団であるNYの邦人合唱団「とも（JCH）」も合流する予定。
- 3) コリア市でのイベント：
[レセプションと合唱コンサート]
場所：コリア市文化交流センター：
文化交流セレモニー（地元名士・ハボン代表の歓迎の挨拶。黛まどかさん講演、伊達家子孫・支倉家子孫らが歴史的絆について講演など）。俳句づくりのワークショップ。被災地の復興の様子報告など。
合唱団「萩」と地元の合唱団（コロ・サンタ・マリア）の合同演奏会。
3. **本プロジェクトの協力者：**
宮城県
仙台カトリック教会「カトリック仙台壮年の会」

仙台市民グループ「春風の家」
石巻合唱連盟
石巻高校 OB 会
宮城スペイン協会
合唱団「萩」(仙台)
混声合唱団「とも(Japan Choral Harmony)」 (NY)
濱田直嗣サンファン館館長
平川新東北大学教授 (濱田氏と並んで支倉常長研究の第一人者)
黛まどか氏 (俳人)
読売新聞 (藤原記者)
セヴィリア在住翻訳家 (今江氏)
支倉常隆氏 (13代)、支倉常雄氏 (14代)
宮城県復興支援センター
在日スペイン大使館 (東京)
セルバンテス文化センター (東京)
NPO 9.11/3.11 風の環コンサート (アメリカ NY/NJ)

今後仙台市、石巻市当局や地元の実力者、財界人、歴史家、青年会、若手の有志などからも広く協力を要請したい。

皆様のご協力のもとこのプロジェクトを是非成功させたいと思っております。
よろしくお願い致します。

“俳句と合唱でつなぐ日西文化交流プロジェクト” 実行委員会

事務局長

新沼 慎二 (社団法人 ブッシュ・クローバ・コミュニティ 代表)

022-394-5607

E-mail: bush.clober012gmail.com

(理事)

合唱団「萩」団長 末光眞希

E-mail: maki.suemitsu@gmail.com

(理事)

合唱団「萩」副団長 境田清隆

E-mail: sakaida@m.tohoku.ac.jp

(文責)

合唱団 JCH 音楽監督、合唱団「萩」NY 支部長

白田正樹

USA201-264-5825

E-mail: mike.s@mushroomwisdom.com